

議会だより

～“まち”の動きがよく分かる!～



あさぎり町議会だよりは
ホームページでもご覧頂けます。

第27回日本太鼓ジュニアコンクール熊本県大会で優勝



通年議会 第8回～第10回会議

令和7年度当初予算	2～6	一般質問	9～16
第8～10回内容	7～8	議員活動報告	19

予算事業



子育て環境整備

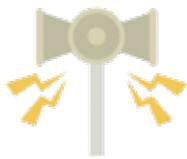
3,220万7千円

保育料・給食費の無償化



屋外放送設備更新

設計委託料 660万円
工事費 1億7,670万2千円



物価高騰に伴う生活応援給付金

8,350万円

1人当たり5,000円で
18歳以下は5,000円上乗せ



南稜高校魅力化

コーディネーター委託料 600万円
地域みらい留学事業 210万5千円



総合防災マップ作成

341万円

最新の防災情報を反映した
マップへ更新し全世帯へ配付



生ごみ処理容器等設置

105万円

生ごみ処理機 上限3万円
生ごみポスト 上限3千円
1/2補助



ケアマネジャー確保支援

34万8千円

人材不足が顕著なケアマネ
ジャー確保への取り組みとして
その資格取得や更新費用の助成



令和7年度

当初 主な

農林業資材等高騰対策支援

5,000万円

資材等高騰の影響を受けている農林業の
経営継続を支援



農業用施設整備

2億1,160万円

土砂流入や溢水被害の
軽減を図るため

- ・鍋塚排水路拡幅工事
- ・仁王地区取水堰改修工事

修学旅行補助

585万円

- 経費高騰への支援として
- ・小学校1人あたり1万円
 - ・中学校1人あたり3万円



ふるさとワーキングホリデー

300万円

域外との交流関係人口の創出
と産業活性化を目指して
滞在期間2週間から1か月程度



あさぎり駅周辺整備

748万円

アドバイザー委託料
駅周辺の賑わい創出のための
官民共同事業体の組成へ向けて



農業収入保険制度加入者支援

300万円

農業収入減少に対応する
収入保険制度への加入促進



才園古墳出土品里帰り展示

222万円

本目遺跡発掘調査30周年
記念事業として、国指定重要
文化財等の特別展を実施



水道施設再編整備

3億5,960万円

災害に強い送水管施設の整備
(岡原地区)



総務課

Q 反射材や路側線等の整備などの交通安全対策費は、町の現状に対して今の事業量で足りているのか。

A 今は予算の範囲内で行っているが、中央線もわからない箇所などあるので、それらを見極めて対応していきたい。



▲中央線の消えている状況

企画政策課

Q 国による高校の授業料無償化で地方の高校の生徒数は益々減少するのではないかと危惧する。南稜高校の魅力化事業は全国から生徒を受け入れられるような、有効な事業になるように取り組むべきではないか。

A 今年のあさぎり中卒業生の3割は、人吉球磨管外の高校に進学すると聞いている。南稜高校には寮もあるので、これを活用して留学生を受け入れることや、新しい学科の増設なども高校と一緒に考えていきたい。

Q

屋外放送設備は設置数を大幅に減らし、今後は「あさぎりナビ」や「防災ラジオ」の活用が考えられている。警報等が伝わらないことがないようどう進めるのか。

A

放送設備の更新については、設置場所の検討も含め、旧型の放送施設を活用しつつ、早期に新型の放送設備の部分的な共用開始ができるよう検討しながら進めていく。

農林振興課

Q 農林業資材等高騰対策支援金の対象について、育苗・田植え・稲刈り等の作業委託料は含まれないのか。

A

支援金申請時に、受付で申告書類等を確認し適切に対応したい。

Q

有害鳥獣捕獲補助金は1,200万円から、1,984万円と増額計上されている。その要因は。

A

昨年までは11月～3月までの狩猟期間については、補助がなかった。補助対象としていないのは、人吉市とあさぎり町のみであり、新年度からその期間中も補助対象とした。

Q

学童農園設置事業は、JA青壮年部への委託料50万円は妥当な金額なのか。

A

児童にとっては貴重な体験の場であるが、ここ10数年予算も変わっていないので、JA青壮年部とも協議をしていきたい。

建設課

Q 石田橋は橋梁の点検が必要であり、世界灌漑遺産の百太郎サイホンが通る貴重な橋でもある。サイクリングロードとの連携や休憩所の設置を行い、町の活性化を図るべきでは。

A

橋梁点検を実施し、現状を確認する。サイクリングロードは国交省、灌漑遺産は文化庁、観光ルートは観光庁と管轄が異なるため、整備の可否を判断し、結果を踏まえて提案したい。



▲現在の石田橋の様子

上下水道課

Q 地方債の借り入れを抑制するために、財政調整基金を下水道特別会計に移し替えて、下水道債の繰り上げ償還に充てることは可能か？

A 下水道経営戦略の見直しの時に検討させていただきたい。

財政課

Q 庁舎跡地活用調査委託料の財源内訳の全額が、国庫支出金となっているが、国交省の補助事業として採択されなかった場合はどうするのか。

A この事業は補助が国10分の10で上限2,000万円の事業であるが、補助事業で採択されるという前提で予算計上している。採択の内容が、判明した段階で議会と協議する。

Q 令和7年度末に地方債残高が1億3千万円増となることについての考え方と今後の見通しは。

A 公共施設整備に活用した場合特別債等の元利償還が、本格化する令和9年度以降に実質公債費比率は高い水準で推移すると見込んでいる。

税務課

Q 個人町民税が前年度よりも3千7百万円増収となっているがその要因は。

A 納税義務者は年々減少しているが、給与収入等、納税義務者ひとり当たりの所得の増加がみられ、町民税の増収が見込まれるため。

町民課

Q 墓地公園の今後について樹木葬での管理方法があったが。

A 需要や希望の有無について、調査を実施し、その結果をもとに対応を検討できないかと考えている。

生活福祉課

Q 重層的支援事業の拡充が必要だが、相談は時間外が多く、庁舎内では対応が難しいため、福祉センター等を活用し相談拠点を設けるべきでは。

A 保健センターや福祉センター役場会議室の空き状況を活用し相談業務に対応していけるよう、現場の意見を踏まえつつ今後の体制を検討する。

高齢福祉課

Q 運転免許証の自主返納支援事業の状況は。

A 現在43名の申請があり、実際に利用されているのは18名で回数は494回。

Q 単位老人クラブへの町からの補助金ひとり当たり1,000円を増額できないか。

A 増額の要望は受けている。町の補助に加え、地区から助成をしているところも多いと聞いている。



町老連 GG 大会

Q 第9期介護保険計画（令和6（8年度））における介護給付費は計画策定時点より減少すると見込まれ基金残高が増える可能性がある。この基金を活用することで、令和9年度以降の65歳以上の介護保険料を引き下げられないか。

A まだ不確定だが、基金残高が増えれば、令和9年度からの保険料算定に充てることも考えられる。

健康推進課

Q 難聴児の補聴器購入助成費事業はあるが、視覚障がい児への扶助費については。

A 県の制度の中にはないが、特別児童扶養手当等の支給があるので申請をしていただき、負担を減らせるような対策を取る。

Q 高齢者の新型コロナ予防接種に対する個人負担金は。

A 令和6年度は2,500円の個人負担であったが、令和7年度は国からの補助が廃止されるので、個人負担金が4,800円になる予定。

教育課

Q 視覚障がい児は特別支援学級で学習できるのか。

A 特別支援学級は6種類の学級種別となっており、あさぎり中学校には、知的障がいと自閉症情緒障がい、弱視の学級がある。マン・ツー・マンで先生がついて指導している。

Q 制服検討委員会の内容とその委員会メンバーの選定については。

A 子どもたちの多様性に対応できるように選択できるような状況を準備する。保護者代表、学校職員、地域の方、児童会や生徒会を主体に意見を吸い上げ検討を進めていく。

Q 中学校部活動の地域移行は、令和8年4月スタートを目指すのか。

A まず保護者負担など現状把握を速やかに行う。PTA総会で説明し、子どもたちがしっかり活動できるような状況を見つめながら取り組んでいく。

Q あさぎり和太鼓保存会は31年間活動を続けているが、活動にかかる費用が高く、保護者の負担も大きい。活動場所と活動助成金についての考えは。

A 現在、練習場所を見つげるために検討を重ねている。活動助成については、催事での活躍に感謝しており、今後の助成についても検討していく。



大分県教育委員会教育長賞を受賞



第8回会議（1月17日開催）

全会一致で
可決

令和6年度一般会計補正予算（第7号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億541万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ135億1,178万7千円とする。

歳入 主なもの

- 地方交付税 2,793万円
- 地方創生臨時交付金 7,103万9千円
- 道路改良費補助金 2,049万8千円
- 災害復旧費補助金 3,954万8千円
- 町債 道路橋りょう債 1,270万円
災害復旧事業債 3,370万円

歳出

- 低所得世帯給付金 6,132万円
住民税非課税世帯 1,912世帯 3万円
子ども1人あたり2万円上乗せ（198人）
- 土木費（工事請負費） 3,350万円
（歩道他）
- 災害復旧費（4か所分） 1億16万3千円

繰越明許費補正

- 社会福祉費
物価高騰に伴う低所得者世帯支援事業 6,603万9千円
- 道路橋りょう費舗装補修事業 300万円
- 道路橋りょう費法面改良事業 900万円
- 道路橋りょう費自転車道整備事業 1,350万円
- 災害復旧費 林道施設災害復旧費 1億16万3千円



第9回会議（2月3日開催）

全会一致で
可決

あさぎり中学校屋内運動場棟長寿命化改修工事請負契約について

工場契約変更契約を締結することとする。

契約金額

（変更前）2億8,930万円

（変更後）2億9,585万6,903円

今回変更による増額 655万6,903円



審議内容の抜粋

○令和 6 年度一般会計補正予算

Q テレワーク施設整備事業に充当されている過疎債が減額となった理由は何か。

A 国の予算の都合により減額されている。

Q 地方交付税の総額は。

A 普通交付税が 47 億 6,443 万 6 千円、特別交付税が 2 億 5 千万円である。

Q 繰越明許費について、工事の看板が立てられてから工事に着手するまでの期間については、住民の方はいつから工事が始まるのだろうと疑問に思われることもあるようなので、町民にわかりやすいように取り組んでもらいたい。

A 工事の目的をしっかりと達成するために必要な工期、そして現場の状況を説明しながら進めていく。

▶ 議案第 50 号

あさぎり町高齢者コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について

あさぎり町に住所を有するおおむね 65 歳以上の高齢者で構成される団体等が利用する場合においては、使用料の全部を免除することができる。

その他町長が必要と認めた場合においては、使用料の一部又は全部を免除することができる。

▶ 議案第 67 号

あさぎり町ふれあい福祉センターの指定管理者の指定について

指定管理者 所在地 あさぎり町岡原北 9 2 9 番地

名 称 社会福祉法人 あさぎり町社会福祉協議会

指定の期間 令和 7 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日まで



▶ 議案第 68 号

あさぎり町農産加工センターの指定管理者の指定について

指定管理者 所在地 あさぎり町上北 1 9 7 2 番地 1

名 称 株式会社 あさぎり商社

指定の期間 令和 7 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日まで





消防団員数の減少に対する対策と機能別消防団の役割は

いわもと やすのり
岩本 恭典 議員

2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。



問 近年、消防団員の減少が進み、少子高齢化や都市部への人口集中、職場の多忙化が要因と考えられる。消防団員数の推移は。

総務課長

合併時705人だった団員数は減少を続け、現在537人である。

問 減少対策として報酬や手当の増額勤務環境の柔軟化、職場の理解促進が考えられるが。

総務課長

退団者に機能別団員として残るよう勧誘を行い、団員の維持に努めている。

問 個人年金制度もあるが。

総務課長

過去に分団長会議ではお知らせしたことがある。



問 特定の技能を持つ機能別消防団の必要性が高まっている。現在の団員数は。

総務課長

令和7年1月1日時点で71名。

問 定数を設けず、消防団OBが登録のみ行い、必要時に活動できる仕組みが有効ではないか。

総務課長

退団された方、地域の方でも、機能別消防団員に入っていただけならと思う。

問 機能別消防団には例として、バイク隊、ドローン部隊、女性消防団の活動が挙げられ、効率的な災害対応や新入団員の確保に貢献しているが。

総務課長

消防団内で全国の事例を参考にし、地域に必要な活動を議論している。



長野県駒ヶ根市消防団バイク隊

問 町民の方は、機能別消防団を理解しているか。

総務課長

現場での認識が地域に浸透しているかは不透明である。

問 地区や、町の防災計画の中に機能別消防団の役割が明記されているか。

総務課長

現在は基本的に一般団員が訓練等に出ているという状況。

問 専門的な役割を果たし、自治体との連携で効率的な運営体制の構築が求められるが。

町長

年齢を考慮し機能別消防団が成立すると感じている。消防署の職員や事業所の協力も重要であり職場の理解を広めていく必要があると感じる。

※機能別消防団とは特定の技能や知識を持った人たちが、その専門性を生かして活動する消防団の形態

上下水道の現状は



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

ながい 永井 英治 議員



問

今年1月埼玉県八潮市で下水道の老朽化に起因する大規模な道路の陥没事故が起きた。同じような大型の下水道管は地方にはないという事だが、老朽化した上下水道管に起因する事故は全国的に発生している。そこで、本町の現状をどう認識しているか。

町長

全国各地で水道管の老朽化というものが社会問題となっており、老朽化が原因で発生する漏水、断水は日常生活に甚大な影響を及ぼし、経済活動にも悪影響を与えている。ただ老朽化した水道管の維持更新には莫大なコストがかかり、人口減少による使用料の減少

と相まって経営難を深め自治体の財政を圧迫していくことになる。今後町の水道施設再編整備計画を見直しながら、水道事業経営戦略等により計画的に整備を進めていく必要があると考えている。



送水管布設状況

問

上下水道の耐震化の現状は。

上下水道課長

上下水道の耐震化率は送水管が61・5%、配水管が19・5%である。下水道は、工事建設が平成5年から始まっており当時の耐震基準では耐震率100%となっているが、現在の耐震基準とは若干の違いがある中で、現在の耐震基準すべりに適合した構造かというところまでは把握できていない。

問

下水道では、漏水や管の腐食による埼玉県のような事故の様な事は起きないと考えて良いのか。

下水道では、漏水や管の腐食によ

上下水道課長

あさぎり町の下水管はほとんどが塩ビパイプであり、口径が150ミリから200ミリほどの管なので腐食することはないと考えている。ただしマンホールポンプからの圧送管は硫化水素等による腐食も考えられるので、管渠点検によりマンホールポンプ及び管渠内を調査して、異常があった場合には直ちに修理を行う事としている。



岡原配水ポンプ場建設状況



かがやま みつこ
加賀山 瑞津子 議員

2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。



災害時、子ども達に生き抜く力を

問 地域防災力を高め備える中で、災害時には電気やガスが使えない状況が想定される。食事や暖を取るために火を起こす技術を知る事は生き抜く力を育む上で重要なことだと考えるが。

町長 災害時の火の取り扱いは、心身共に健康を保つためや子ども達が自然や災害に対する知識・経験を身に付ける事に非常に重要。

町長 現在の防災教育の一環として火おこし技術や安全な火の管理について、防災訓練や防災学習の場面で具体的なプログラムに入れる事は可能か。

町長 例えばイベントの中で火のおこし方の展示・実演の場を設定する事は可能。

問 駅前公園や旧庁舎跡地等に「かまどベンチ」の設置は出来ないか。

町長 あさぎり町も南海トラフ地震の想定被害区域の指定がある。備えの面でも今後公園整備、ベンチ整備等十分検討していきたい。

町長 「あさぎりクエスト」の今後の持続的活用・拡大について



災害時にかまどになるベンチ

問 商工観光のみならず交流人口の創出に繋がるものと期待している。学校やクリエイターと協力するなどを含めて今後の展開は。

町長 教育・防災に関する事も一緒にあって今後取り組めたらと思っています。

町長 実際の地名、GPS機能搭載など観光でも十分役立つと思う。今後は地元飲食店や事業者と連携して、クーポン等を増やしながらダウンロード数も増やしていきたい。ゲーム展開についても検討しながら進めていく。

問 教育や防災などを入れていく考えは。

町長 教育・防災に関する事も一緒にあって今後取り組めたらと思っています。



あさぎりクエスト
オフィシャルサイト

問 全職員、町民含め広げていくべきでは。

町長 くま川鉄道復活のきっかけとして、沿線の方々も一緒になって広げていけたらと考える。



自治体主体九州初のロールプレイングゲーム

※ロールプレイングゲームとは、プレイヤーがキャラクターを操作して、架空の状況下で冒険などを繰り返るゲーム。
※クエストとは「冒険」や「探求」を意味する言葉。

健康寿命日本一を目指し eスポーツの推進を



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

みぞぐち みねお
溝口 峰男 議員



eスポーツを楽しむ様子

令和7年度は高齢福祉課
で1台、社会福祉協議会で
1台購入し、推進していく。

町長

問 eスポーツは、年
齢に関係なく楽しむ
ことができ、高齢者の新た
な娯楽や社交の場としての
魅力を提供している。ま
た認知機能の刺激、健康
への効果などのメリット
がある。資機材を町ある
いは社会福祉協議会で購
入し、公民分館に貸し付
ければ、いきいきサロ
ンの充実もできるのでは
ないか。

免田、深田地区の皆さ
んが非常に不公平感をお
持ちであることは重々承
知している。「築地のコ
スモスから公立病院まで
の初乗り運賃を助成でき
ないか」との話もあった
が、それに代わった案も
産交バスに提案し、でき
る限り早く対応したい。

町長

問 町民の不公平感
地域間格差解消に
ついて、何度も質問して
いるが、くま川鉄道が全
線開通する令和8年夏ご
ろに合わせ、産交バス運
行系統の見直しが検討さ
れるとの事だが、それま
で解消しないのか。

「ほのぼの号」利用の不
公平感・地域間の格差解
消を

問 消防団員の活動
拠点である消防詰
所が、築40数年も経過し
老朽化している所が数か
所ある。消防団員の命を

先進事例等を参考にし
て、前向きに検討したい。
**消防詰所の整備と部の統
合の基準は**

町長

問 地域活動の後押
しをするため総務
省は自治法を改正し「指
定地域共同活動団体」制
度を創設した。あさぎり
町も国の制度を活用し
て、頑張る地域を支援す
るようにはできないか。

地域活動支援のため、指
定地域共同活動団体制度
の制定を



築40数年の老朽化した消防詰所

町長
一部に一施設、団員数
が少ない部の統合を進め
計画的に整備していく。
問 部の統合の基準
はあるのか。
総務課長
明確な基準はない。

守る為にも早急に整備す
るべきではないか。



健康づくりは

みなごし 皆越 てる子 議員

2次元コードで各議員の一般質問の動画がご覧になれます。



問 広報あさぎりで「健幸プログラムで新しい健康習慣づくりを掲げる。デジタル健幸ポイント参加募集先着500人」とあったが目標達成の現状と年代別の加入状況は。

健康推進課長

2月末で415名。年代別は、20代9名。30代21名。40代43名。50代66名。60代98名。70代178名。

問 目標に達していないが、次年度の計画は。

健康推進課長

700名で計画している。目標トータルは1,100名の計画。

問 デジタル化を図り、若い人への加入促進とその分析については。

健康推進課長 周知を徹底したい。年齢層の引き下げなども検討している。

問 健幸スポット6か所の利用状況は。また、利用が少ない所についての考えは。

健康推進課長

ヘルシーランド290名。ポップー館50名。本庁舎40名。岡原支所10名。須恵文化ホール3名。せきれい館14名。利用が少ない所も、地域の均等性を持たせるといふ事でそのまま設置したい。

問 健幸ホール以外の運動拠点の検討は。

健康推進課長

深田・須恵地区に1か所は必要ではないかと考えている。

問 10月を「健康づくりチャレンジ月間」と定め実施されているが、参加状況は。また次年度の取り組みと課題等は。

健康推進課長

令和5年度が5日間で134名、令和6年度が7日間で419名の参加。

令和7年度も同様の事業を実施し、広報紙で情報発信していく。

問 男性の居場所づくりとしての、現在の取り組み状況は。

高齢福祉課長

男性向けのアンケートを実施。健康マージャンボランティア、子どもとの交流などの意見が多かった。社会福祉協議会で実施している健康マージャンについては、令和6年1月に立ち上げ、現在は15名が参加されている。

問 社会福祉協議会で推進している「モルック」も室内外問わず楽しめる競技。普及については。

高齢福祉課長

道具については2月のサロン関係者の交流会でも紹介。今後も周知をしていく。

※モルックとは…地面に立てて並べられた複数のピンをめぐって、「モルック」という木に棒を投げて点数を競うゲーム



ふれあいスポーツクラブあさぎり 春の健幸ウォーキング

中学校部活動の地域移行は



こまつ 小松
えいいち 英一 議員



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

問

中学校部活動の
地域移行の現状と
今後の進め方は。

町長

生徒数の減少やニーズ
の多様化、先生方の働き
方改革の面から、町とし
てもしっかりと取り組ん
でいくべきであると考え
ており、令和7年度から
会計年度任用職員を配置
して推進していきたい。

問

地域移行に向け
て、外部指導者の
確保、活動時間帯、大会
や練習のための生徒の移
動、保護者の新たな経済
的負担など、様々な課題
が出てくると思われる
が、その対策は。



上総合運動公園テニスコート

教育課長

まだ外部指導者の確保
も十分にできていない。
活動時間帯、指導者への
謝金、練習や大会参加な
どに伴う保護者の費用負
担や送迎の負担など、こ
れから順次示していく予
定である。



農業支援センターの今後
の在り方について

問

農業支援セン
ターの役割と現状
は一致しているか。

農林振興課長

農家の労働力不足を補
う、さらに事務的な業務
を含めた農家の負担軽減
などは、当初の目的通り
に実施している。

問

高齢化や後継者
不足、農業機械の
更新など、様々な要因で
離農を余儀なくされる農
家の数は増大してきてお
り、地域農業だけでは
守っていきなくなる。支
援センターが、条件不利

農地などを含めた農地の
耕作管理を担うべき時期
に来ているのでは。

農林振興課長

個人経営や法人経営
体、受託組織など様々な
形を活用して、町の農業
を守っていかなければな
らない。今後も目標を持っ
て取り組んでいきたい。



トマト栽培の様子

●この他の質問

職員の働き方改革の取
り組みについて



物価高騰対策は

かとう ひろし
加藤 弘 議員

2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。



問

物価高騰対策給付金が、非課税世帯へ1世帯3万円、子どもがいる場合1人当たり2万円が支給されるがいつ支給されるのか。また、対象者は、何名で全町民に対する割合は。

生活福祉課長

通知書が届いた世帯は、支給日が3月26日で、確認書等が届いた世帯は、提出後1か月程度以内を目指している。対象者は、1,739世帯で町民全世帯数の約30%である。

問

令和7年度に「物価高騰対策」として町民1人当たり5千円18歳以下に5千円プラスしての支給が計上されているが、この事業に取り組んだ思いは。

町長

非課税世帯以外でも今回の物価高騰については非常に厳しい状況が続いているので、生活応援券という形で取り組んだ。

問

物価高騰対策の、第2弾が必要ではないか。

町長

国の交付金や、今後の物価高騰の状況を見ながら対応を進める。

問

薬草ミシマサイコが、今年度は異常気象で収量が大幅に減少したと聞いているが被害の状況と支援は。

農林振興課長

種子については、1年物は前年比収量42・7%2年物が55・3%、根



ミシマサイコ

については、前年比127・8%の収量であった。支援についてはすべての出荷が終わってからになると思うが、対応については、収入保険加入推進事業を活用していきたいと考えている。

問

「株式会社ツムラ」へ支援の依頼はできないか。

町長

生産者の意向を伺いながら、何が必要なのかというものを確認したうえで、会社と話ができればと思っている。

問

安心、安全に生活するために、「テレビドアホン」の設置を進め、購入に助成は。

総務課長

非常に役立つと認識している。補助事業としてどれだけ取り組んでいくのか、また、財源がどれくらい必要なのか、状況の把握が全然出来ていないので、確認作業ができればと思っている。

『住民ファーストの目線』を 持ったまちづくりは



なんば あやみ
難波 文美 議員



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

問 今年1月に実施されたまちづくりアンケートの結果は。また令和7年度予算に総合計画運用支援業務委託費が計上されているが、今後の調査継続は。

企画政策課長
無作為抽出により18歳以上の町民2,000名を対象に調査を実施し回答総数は879件。そのうちオンライン回答は166件。調査継続については町民の考えを把握する必要があるので、引き続き実施する。

地域おこし協力隊について

問 12名の協力隊に費用対効果を最大限に発揮してもらうためにも今後の定住を含めてどのような支援をしていくのか。

町長

3年の任期を終了した翌1年で使える補助金上限100万円を起業・創業のための準備資金として創設したので活用してほしい。

結婚生活支援および子育て環境支援について

社会教育施設の利用について

問 各施設の使用料金見直しは検討しているのか。

教育課長

令和元年度の消費税率アップに伴い条例改正がなされたが、今現在で具体的に見直すところまでは検討に至っていない。

問 町の定住支援や結婚支援事業実績は。また国の補助金制度ではあるが、対象年齢を39歳から50歳に上げるなど、納税に貢献する世代へ国の制度プラスアルファとして、町独自の支援の考えは。

商工観光課長

令和6年度事業実績は1件のみである。

町長

年齢の縛りは必要ないと思うが、町独自の定住支援に関しては年齢制限で金額を分けており撤廃の考えはない。

問 子育て支援は全てが無償化に向かっているが医療費や保育料の現状は。

生活福祉課長

令和6年度のこども医療費は5,888万3,142円で500万円を下回る月がほとんどないという状況。保育料は、平均で1人当たり年額17万556円である。



学校給食の完全無償化に伴う食材クオリティの維持について



無償化された給食でも『安心安全』を

問 2026年度以降は国の制度に移行するが、今後は、より安心安全な食材の供給システム構築を考える時期が来ているのではないか。

町長

オーガニックや無農薬、地産地消などは教育委員会や栄養士と一緒に検討しながら進めていきたい。

総務建設経済常任委員会

2月28日

認定農業者協議会と議会及び農業委員会との意見交換会

- ・ 地域計画・目標地図について
- ・ 農業振興補助金について
- ・ 営農型太陽光施設（ソーラーシェアリング）について

3月5日

令和7年度主要事業現地調査

- ・ 水道施設再編整備事業
- ・ 団体営農業農村整備事業（2か所）
- ・ 道路改良事業（3か所）
- ・ 河川改修工事
- ・ 道路維持補修事業



鍋塚放水門・放水路改修

◆審査事件 12月10日付託

要望第9号 リサイクルセンター北側の竹林伐採に関する要望書

審査の経過及び意見

1、令和6年度あさぎり町議会第7回会議において、本件を総務建設経済常任委員会に付託される。

2、令和7年3月5日 現地調査

建設課より説明を受け、現地に状況を確認。現地調査の結果、令和7年2月、井口川の河川管理者である熊本県により、要望箇所の竹林伐採の整備がなされていた状況を確認する。

3、令和7年3月6日

竹林伐採の整備がなされていたため、要望者の意向を再確認し、要望書の取り下げ届を受領。

4、令和7年3月12日 総務建設常任委員会

要望書の取り下げ届を受けての協議。

【全員異議なし】

厚生文教常任委員会

12月12日、2月25日

国民健康保険特別会計の運営について

熊本県は令和12年に保険料の県下統一を目指している。あさぎり町が標準保険料率

を適用した場合は、税率の引き上げが必須となる。令和7年度中に具体的な数字を示しながら住民への十分な周知を行い、令和8年度から標準保険料率に近い税率で課税を行う。また、保険料負担の公平性や予防医療の推進等について協議した。

1月17日

第5次あさぎり町保健福祉総合計画について

保健福祉総合計画は、保健・福祉分野の上位計画となるあさぎり町地域福祉計画を共通の基盤として8つの計画が構成され、令和11年度、12年度までの取り組みを定めたものであり、あさぎり町における保健・福祉のまちづくりを推進していくための重要な指針となっている。

連合審査会

※合同の常任委員会

2月25日

所管事務内容調査（10項目について実施）

令和7年度主要事業について調査。



人吉球磨広域行政組合議会

新ごみ処理施設建設

- ① 稼働開始予定 令和15年4月1日
- ② 建設予定地 あさぎり町免田
ごみし尿処理場跡地
- ③ 令和7年度整備事業費 ごみ処理施設整備基本計画の策定及び用地測量・地質調査に係る費用、搬入道路整備に係る事業費負担金、一般廃棄物処理施設基金を計上。

上球磨消防組合議会

共同分署の位置については、あさぎり町と錦町の境界付近で示され、今後は、両組合管理者組合長とあさぎり町長、錦町長との4者において協議を進めていくとの報告があった。

災害情報の一元化による人吉下球磨消防組合と上球磨消防組合は、令和7年4月より「人吉球磨消防指令センター」として消防指令業務の共同運用を開始する。



議員との意見交換会を開催します

日頃より、町の発展と住みよい地域づくりにご協力いただき、誠にありがとうございます。この度、議員との意見交換会を希望する方々の募集を行います。皆様のご意見やご要望を直接議員にお伝えいただける貴重な機会ですので是非、ご利用ください。

日時：希望日を調整し、決定します。

場所：あさぎり町役場 第二庁舎 2階 議員控室

※その他、ご希望の場所があればご相談ください。

参加人数：3人～10人程度（1回あたり）

意見交換会は、ディスカッション形式で行う予定です。

注意事項

1. 具体的な内容や数字等が必要な質問については事前にお知らせください。
2. 個人的な内容や誹謗中傷は、受け付けません。
3. 対応する議員は、2人～4人。対応する議員の指名は出来ません。
4. 申込みが多い場合は、受付順で対応します。

お申込みはこちらまで

氏名、連絡先、内容等の必要事項を下記のいずれかの方法で連絡をお願いします。

■電話

議会事務局 47-0312 (直通)

■お問い合わせフォーム

**地方自治の未来を創る
調査特別委員会**



おめでとうございます



全国町村議会議長会 15年表彰

- ・永井 英治 議員
- ・皆越てる子 議員

2月～4月活動内容一覧

月	日	行 事 名	参 加 者
2月	3日	議員懇談会・全員協議会 第9回会議	議員
	13日	郡定例議長会（人吉市）	議長
	19日	人吉市議会との合同研修（錦町）	議員
	20日	上球磨正副議長会議員研修・健康づくり交流会（多良木町）	議員
	21日	熊本県町村議会議長会第75回定期総会（ホテル熊本テルサ）	議長
	25日	全員協議会、合同審査会 厚生文教常任委員会	議員 厚生文教常任委員
	28日	認定農業者協議会とあさぎり町議会及び農業委員会との意見交換会（町内飲食店）	総務建設経済常任委員
3月	3日	議員懇談会・全員協議会	議員
	4日	議会運営委員会	議会運営委員 正副議長
	5日	総務建設経済常任委員会	総務建設経済常任委員
	8日	田頭川河川整備工事着工式	議員
	9日	令和6年度卒業証書授与式（あさぎり中学校）	議員
	11日～21日	全員協議会、第10回会議（3月定例会）	議員
	12日	総務建設経済常任委員会	総務建設経済常任委員
	14日	議会運営委員会、全員協議会、広報調査特別委員会	議員
	21日	町内小学校卒業証書授与式	議員
	24日	上球磨正副議長会（水上村）	正副議長
	25日	郡定例議長会（人吉市）	議長
	4月	1日	議員懇談会・全員協議会 地方自治の未来を創る調査特別委員会
6日		あさぎり町消防団入退団式（上総合グラウンド）	議員
7日		広報調査特別委員会	広報調査特別委員
9日		町内小中学校入学式	議員
10日		郡定例議長会（人吉市）	議長
11日		広報調査特別委員会	広報調査特別委員
16日		公共施設マネジメント調査特別委員会	議員
19日～21日		第18回あさぎり町中部ふるさと会（愛知県）	副議長、議員2名
21日		令和6年度あさぎり町文化協会総会（春日会館）	議長
24日		錦町議会議員との意見交換会（錦町）	議員
25日		あさぎり町老人クラブ総会（ふれあい福祉センター）	議長
27日		清水区公民館落成式	議長
28日		全員協議会（町内現地視察）	議員

聞かせて

町民の声

このコーナーは町民の皆さまの日頃の活動状況や議会・町に関する要望等を寄稿していただき、作成しています。議員が依頼に伺った際は、ご協力をお願いします。

農業に生きて

深田 (植の里) ^{みぞべ}溝辺くに子^こさん

昨今、米騒動や野菜の高騰が取り沙汰されています。そんな中、我が家の食卓は、ほぼ自給自足の生活です。姉の勧めで抗がん剤の世界的研究者、前田浩先生の教え「最強の野菜スープ」から学び、野菜の捨てる部分を利用した野菜スープ、黒ニンニクやニンニク卵黄を手作りし、成人病や習慣病にならないよう心がけています。この地に生まれ、56年間農業一筋に生きてきた私にとって、食糧を生産する立場から、又家族の健康管理の立場から食に対する関心が強く、これまで仲間と共に学習を重ねてきました。



ひ孫と一緒に

その結果、食について自然に伝わっていたものが、これからはしっかり伝えないと子供に伝わっていかない事や、調理のプロセスが解らないと食に対する感謝の気持ち生まれません、食育は家庭や学校教育の中に取り組む必要がある事を強く感じました。

子育て、孫育てを終わり、ひ孫育ての今日何よりも食育が、人間形成の基本であると感じています。気象状況や世界情勢の変化を考える時、少しでも食糧の自給力アップが大切だと思います。

あさぎり町は、農産物の全てが出来る恵まれた素晴らしい処です。種を播いて育て、食する楽しさや喜びを一緒に体験して欲しいと願っています。そして、古里の味として留め、大人になって一旦は都会へ行っても、味覚を便りに帰って来て欲しいと願っています。

編集後記



「議会だより」は、議会全般に関することを少しでも多く、分かり易く、興味を持っていただけるよう6名の広報調査特別委員会のメンバーで工夫しながら作成しています。

今回は、3月11日から開催された定例会を中心に、全員協議会や常任委員会(総務建設経済と厚生文教)、また一部事務組合での出来事をまとめています。

どんな「議会だより」が町民の皆様にとって読んでもいいか、研修を受けたり、勉強をしながら頑張っています。他に扱って欲しいテーマや議会の活動についてご要望がありましたらよろしくお願致します。

(加藤 弘)



編集発行者
議長 小見田 和行
広報調査特別委員会
委員長 橋本 誠
副委員長 岩本 恭典
委員 小松 英一
加藤 弘
小谷 節雄
皆越 てる子

※本紙内容の無断複写およびSNS等への投稿、掲載は一切禁止します。
★お願い★ 「議会広報」の腕章をした議員が、写真撮影等でお伺いして取材します。議会広報に載ることがあります。ご理解とご協力をお願いします。